

学校生活の様子～5年生～

令和3年7月26日
横浜市立瀬戸ヶ谷小学校
第5学年

7月の5年生は「自分で考える」ことが各教科で多くありました。「自分で考える」ことの楽しさやよさ、難しさ等を感じて夏休みを迎えました。

《家庭科》

針に糸を通すことから始まったソーイング。はじめは苦戦していた様子もありましたが、今では「家で作ってきました！」と自宅で小物づくりを楽しんだり、かわいい小物入れを短時間で完成させたりするほどに成長しました。授業では、手縫いのティッシュケースやフェルトを使った小物を作りました。



《 体育 》

マット運動では、技の組み合わせや技と技のつなぎ方を、自分で考え、工夫して演技しました。自分の技を振り返って次の課題を見つけ、友だちと教え合いながらよりよい演技となるよう取り組みました。

子どもたちは、「魅せる演技」をしようと指先までのばすことや、ポーズを決めるなど、それぞれで工夫をしていました。



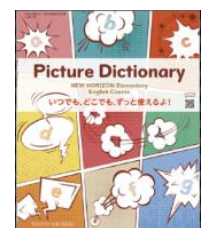
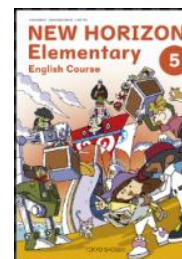
《 国語 》

作家に着目して本を読み、読んだおすすめの本を紹介する学習に取り組みました。友達が読みたくなるように紹介しようと、紹介カードに吹き出しをつけて目を引くようにしたり、キャッチフレーズを工夫したりして、各自工夫を凝らして書いていました。



《 外国語 》

サモウ先生に、夏休みに楽しみなことやしたいこと、その理由を英語で伝えるというパフォーマンステストを行いました。「夏休みに何がしたいか。それはなぜ？」という質問に、子どもたちは、これまで学習した英語を使って自分の考えが相手にわかるように対話をしていました。



理科や社会では、それぞれのテーマについて本やインターネットを活用して各自で調べ学習に生かしました。また、図工ではコンテで真っ黒にした画面にイメージするものを表したり、粘土を使って偶然にできる「私のいい形」を表したりしました。このように「自分で考える」という活動がたくさんあった7月でした。今後も「考える」経験を通じて、学びを深めていけるような指導をしていきます。

